

ASEAN諸国の食料安全保障と農業のゼロエミッション化の両立

【令和6年度予算概算決定額 40（-）百万円】

<対策のポイント>

地域の農業技術に各種先進技術を組み合わせたGHGゼロエミッション型作物栽培体系を検討・実証するとともに、その効果を分析し、展開戦略を提案することで、ASEAN諸国の食料安全保障と農業のGHGゼロエミッション化の両立に貢献します。

<事業目標>

- ASEAN諸国の食料安全保障と農業のGHGゼロエミッション化を両立する実用的な作物栽培体系を2件以上提案〔令和10年度まで〕

<事業の内容>

1. 温室効果ガス（GHG）排出を抑えた強じん生産性の高い作物栽培体系の提案・実証

- 地域の特性に適した農業技術に各種先進技術を組み合わせたGHGゼロエミッション型作物栽培体系を提案し、ASEAN各国等と連携してその効果を実証します。

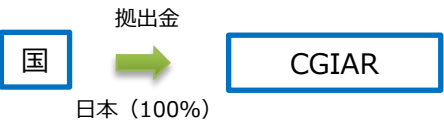
2. ゼロエミッション型作物栽培体系の導入効果の分析と展開戦略の提案

- 栽培体系の導入による環境負荷軽減や経済性に対する影響を分析・評価し、ASEAN各国に対してGHGゼロエミッション型作物栽培体系導入に向けた展開戦略を提案します。

3. ASEAN諸国の食料安全保障と農業のゼロエミッション化の両立に向けた取組についての情報発信

- CGIARが有する各国政府とのネットワーク等や国際会議機会を活用し、本取組や日本の研究機関・民間企業との連携等についての情報を発信します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

GHGゼロエミッション型作物栽培体系の提案・実証



導入効果の分析と展開戦略の提案

- GHGゼロエミッション型作物栽培体系導入による効果分析
- ASEAN各国への展開戦略の提案

期待される効果

- GHGゼロエミッション型作物栽培体系の普及により、ASEAN諸国の食料安全保障と農業のGHGゼロエミッション化の両立に貢献



【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 農林水産技術会議事務局国際研究官室 (03-3502-7466)